

# 協議会ニュース 54号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 1995.12



195-7-29

湯谷周辺・瀬戸山中腹の観察会にて

## 「自然観察会ははじめの一步」

### 連絡会アンケート

佐藤国彦（事務局）

（財）日本自然保護協会がこの11月に大阪で開催した研修会「自然観察会」ははじめの一步」の開催に関連して、各県の指導員連絡会等にアンケートを実施しました。

アンケート結果の分量が多いので、そのうちの一部を参考までに次にまとめてみました。

（全体が欲しい方は、佐藤までご連絡いただければお送りします。）

NACS-Jは、自然観察指導員一人ひとりが、身近な場所で自然観察会を始めることが大切と考えています。このような自然観察会を広げていくためには、どのようにしたらよいでしょうか？

● 指導員ぶらないこと。近所の友達や子供と遊びながら始めてみる。参加者が口伝で観察会の楽しさを宣伝してくれる内容が必要。指導員一人ひとりの努力の積み重ねが大切と思う。〔福島・事務局〕

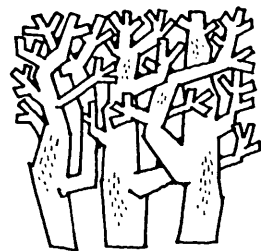
● 何のために自然観察会をするのか？という根本問題の整理。残念ながら「これ何ですか？」で始まり、教えてくれることを期待している参加者が多い。それをスマートに受け流して、もっと大切なことを感じ考えさせるために、歩きながら考える姿勢を。歩かないで考えると理科教育やお説教になる。ぶっつけ本番だと遊びだけになったり、名前の説明だけになりやすい。2時間程度の観察会では、参加者から気軽に質

問が出ることも少ない。名前の説明をとったら、何をしゃべったらよいかわからないでおじけづいている人に、いろいろな実例を紹介し自信を持たせることが必要。

〔千葉〕

● 基本的には自然観察指導は技術を伴うものと解しています。初めは連絡会の主催する観察会、他人行方観察会に手伝いとして参加し、やがて自分の観察会を設けていく形がよいと思われます。愛知県では、数人のグループで月例観察会を始めて、それが定着していくケースも多くあります。一度だけでなく、回を重ねることを目標としたいものです。〔愛知・事務局〕

● 京都連絡会では、会の名前と責任において、集団的な「共同作品」としての自然観察会を行っています。そうした活動を通じて、会員は経験を積み、成長しており、会としては公開観察会、その下見、会員向けの定例観察会などを通じて、経験の浅い会員を育てるように配慮しています。こうして成長した会員が、会の活動と並行して「身近な自然観察会」を始めるのは自然のなりゆきと考えます。従って、「はじめの一步」は、京都連絡会の活動から始まると私は考えています。多くの仲間と一緒にやる観察会はとても楽しいし、知らぬ間に自信がつき



ます。NACS-Jに期待したいことは、指導員講習会の場や機関誌を通じて、各地の連絡会への参加をもっと積極的に呼びかけてもらうことです。そのことが結果的に「身近な観察会」を広げていくことにつながります。〔京都・幹事会〕

● 自然観察会の楽しさを知ってもらう。自然観察会を企画する楽しさ、実際に自然観察会やってみて参加者の方々と観察する楽しさを味わってみたいと「はじめの一步」を踏み出すのは難しいと思う。それは身近であっても身近でなくても同じこと。だから、今かかわっている観察会をできるだけ魅力のあるものにしていく。そういう魅力のある観察会が一つでも多くなれば、観察会が観察会を生み、全国で行われるようになる……はずだが。（後略）

〔大阪・個人〕

●（前略）私のように全く知識もなく、本当の意味で最初の第一歩を踏み込まなければいけない方は、とにかく「知らない」恐怖から立ち直るのが大変困難なのです。いくら講習会で「知らなくても大丈夫」と言われてもダメです。参加者の期待による重圧感の中で、思いもしぼんでしまうのです。実際、知っていくことの中で知識ではなく自信や方法、人とのかかわり方を学んでいき、初めて楽しい思い、次回への意欲につながっていくと思います。私はヒヨドリも知らずに「始めたい」と考え続けて5年くらいでようやく自分の観察会をすることができるようになりました。そのいきさつは、経験者である方に連れられ、妙高のサプレンジャーに加えていただき、人と人との係わりの中で意欲を持続させていただき、豊富な知識と経験と何よりそれをすばらしく楽しい観察会にしている先輩方にいろいろ教えていただきながら、ようやく

「知識だけじゃないんだ」と思えるようになりました。〔大阪・個人〕

● 観察会というもののイメージが先にあって、観察会らしくあらねばならないという気負いが実行を難しくしているのではなからうか。指導員自身が身の回りの自然を楽しむことから始め、家族、知人を誘って語り合ったり、一緒に身の回りの自然を観察できるようになれば、立派に観察会を開いたことになる。〔宮崎〕

指導員が身近な場所で観察会を始めると連絡会としてどのような問題が予想されるか。それを解決するために、NACS-Jや連絡会が果たすべき役割は？

● 一人の活動が喜ばしいことではあるが、各々が観察会を行うと日時・会場が重なり、全体としてのまとまりがなくなる。協議会主催の観察会等に協力する人が減少する。協議会としては、いろいろな行事に参加するよう呼びかけているが、ほんの一握りの指導員の参加です。今後どのようにすればよいかわかりません。悩みです。

〔秋田〕

● 個人ではなかなかできないことが仲間と複数ならできる。行事・企画の雑事をみんなで分担することができる、個人では限界がある。指導員資格は、名刺の裏書でなく活動に協力することでその価値がある。

〔新潟・事務局〕

● 各地域の観察会の情報は、近くの関係者だけに伝わり、連絡会から他の地域の会員へと伝わらないケースが今後増えることが予想される。小さな観察会は、とかく閉鎖的・趣味的に流れやすい。常に新鮮な感

激とこの次にも来たくなるような魅力作りのための、各地域と連絡会との新しい関係作りを。連絡会スタッフは、役員的な意識でなく、お互いに気軽に各地に出かけ、その地域の人を盛り立てながら、手伝い合う姿勢をみんながこころがけることだ。

〔千葉〕

● 一人が大先生になることよりは。連絡会にはいろいろな知識をもった人がいるので、その人たちをもっと活動しやすくすることが大切だと思う。そのためには、良い企画をたて、たくさんのひとをコーディネートする人が必要となる。自然観察コーディネーターを要請する講習会が欲しい。自然保護を普及する意味でもひとつようである。

〔神奈川・個人〕

● 連絡会の活動に支障があるような問題は予想されません。一人でも活動を開始するような人は、自分の活動の正しい座標を取りたいと思うはずですから、居住地ばかりでなく全国の情報を提供できるようにしておく必要があると思います。熱意のある人ですから自分で情報を集める努力も惜しまないことでしょし、ことによったら、連絡会の情報では物足りなくなるかもしれません。そして、連絡会に入っている意味がないという反応が出るかも知れません。それでもれんにくかいとしてはかまわないのではないかと思います。ただ、その方の情報を他の会員に伝えるという機会を失いますので、そういうことのないようにしたいと思います。また熱意のある方は当然ですが、いわゆるユウレイ会員でも対行政への数という力の一部であることのご理解もいただけるよう努力する必要があると思います。NACS-Jには、機関誌では扱えない、載らない情報面でのサポートを求めます。

〔長野〕

● 連絡会の会員がどのような形であれ活動をはじめるとは好ましいことであり、連絡会としては、それなりに協力していきたいと考えてい



ます。なお、連絡会としても市町村や公民館等から自然観察会等を依頼されることも多く、それに応じていくことも社会的に認められる大切なことと思われませんが、会員個々が自分の活動で力をつけていくことが連絡会にも役立つと思います。

〔愛知・事務局〕

連絡会として指導員が身近な場所で自然観察会を始めることに対して、どのような協力体制がとれますか？

● 個人活動では必ず行き詰まりができ飽きがくる。連絡会の中にはいろいろな特技・知識を持った有識者が多いので、会員同士の研修会を重ねあえばマンネリをふせぐ手段となる。

〔新潟・事務局〕

● 観察会にかかわる領域は広い。指導員相互の上下・新旧関係より、気軽に相談できる会員相互の情報交換システムを早急に作るための努力・「鳥にくわしい」「野草の名前は誰々さん」という今までの区分だけでなく、「子どもと遊ぶのがうまい」「観察会をひらくための準備」「行政とのかわり方」「自然保護問題をどう扱う」「小学校の教科と環境教育」……といった多様な若々しいベテランを育てる。それぞれの仕事をかかえて、困難なことです、あせらずあきらめず、それをめざさないといけない時期に来ています。

〔千葉〕

● 個々の観察会に指導方法や情報を提供することが会の役目と思いますが、今のところ不十分です。また、個々の観察会をネットワーク的につないでいくことも連絡会の使命でしょう。なお、愛知県では本年から個々の観察会の保険事務を若干の助成を含めて代行しています。〔愛知・事務局〕

● 京都連絡会の行う観察会そのものが、身近な観察会を行える会員を育てていると考えます。また、そのように努力しています。会の観察会のノウハウや備品などを利用してもらうことでこれまでも協力体制をとってきました。一回限りの「研修会」よりも、連絡会での持続的な日常活動を通じ

てのほうが、未経験者の「はじめの一步」のためにはよほど役立つのではないのでしょうか。（後略）〔京都・幹事会〕

● 望むことがあれば可能な限りの支援体制を組みます。地域の特性や指導員の個人的な問題もありますので、連絡会としてはそれに従った最善の協力体制をとりたいと考えています。ただし、以下の場合、個別に相談することとしています。

・自然保護活動に結び付かない場合　・オンラインにダッコ式で自主性が欠落している場合　・利害関係が想定される場合　・スポンサーがついている場合　・特定の宗教や政治団体などを対象とする場合　〔宮崎〕

## 会 員 の 動 き

### 【加 入】

- ・飯島ひろ子（尾張支部）　〒488 尾張旭市旭ヶ丘町旭ヶ丘 5635-2
- ・中島ひろ子（尾張支部）　〒461 名古屋市東区筒井 3-17-21 福富ビル 103

\* 11月の自然観察指導員講習会（於犬山市）で、次の方が協議会に加入されました。

浅野富雄、石川登志子、石黒 誠、池田よし子、伊藤香織、入谷精一、  
梅村幸稔、金山昌宏、川口英明、川本泰之、久保田吏恵、佐藤勝典、  
柴田美子、清水紀子、白井俊子、須賀美佐子、鈴木ひろ子、高木 謙、  
竹内英男、戸茆辰弥、富田やすよ、西尾けい子、丹羽君江、野々村由紀子  
花井喜代美、原 節子、廣田鎮衛、平手直子、深尾雅代、藤掛宗久、  
前田紀子、牧野進一、間下美咲、松岡裕美、水野喜章、南 謙三、  
村上初美、森下なつ子、森田妙子、山田恵一郎、山田 妙、山本敬夫、  
吉見 勝、渡辺美由紀

### 【脱 退】

- ・田中良一（西三河支部）〈届〉　・橋口美智子（知多支部）〈届〉

### 【住所変更・表示変更】

- ・岩崎昇一（名古屋支部）　・垣見 宏（名古屋支部）　・垣見清美（名古屋支部）〔旧姓 坂〕
- ・斎藤成人（名古屋支部）　・鈴木 豊（名古屋支部）　・井上好章（尾張支部）
- ・村瀬正成（尾張支部）　・武田芳男（東三河支部）

※ 新住所は、機関誌と同時に送る会員名簿をご覧ください。

平成7年度自然観察指導員講習会

新 会 員 紹 介

石川登志子（天白区）

生活圏にある観察会を中心に、少しでも多く参加をし、知識を深めて少しずつ家族や友人に伝えていきたいと思っています。

11/11の「川を歩こう(天白川)」に参加しました（時間の都合で午前中のみ参加になってしまいましたが）。とてもよかったので季節を変えてまた企画していただけたらと思っています。

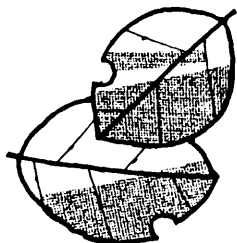
石黒 誠（豊川市）

自然が好きで、最近野山の草木を見ながら歩くことを始め、新聞で目に止まった自然観察指導員講習会の受講を機に、自然観察の勉強を進め、指導ができる様になろうと思っています。まず、身近な豊川の野山を家族や友人と見る事から始めようと思っています。今後とも御指導よろしくお願いします。

入谷精一（瀬戸市）

瀬戸市の菱野団地にある私の家の庭にも色々な鳥がきます。今は、柿が熟し始めたので、鳥の種類も増えてくるだろうと楽しみにしています。その鳥のせいか、植えた記憶のない木々が生えています。なかでもくろがねもち、背より高くなっています。その他さんしょ、なんてん、やつでと

ともに、名前の知らないいろいろな草も生えて、こんな所も自然の中にあることを感じています。



金山昌宏（岡崎市）

私は、10年程前から山へ登る様になりました。その時の紅葉に魅了されたのが自然に興味を持つ切っ掛けとなりました。始めは、岐阜、長野県の山ばかり歩いていましたが、近頃やっと身近な自然の良さにも気が付き始めました。以後よろしくお願いします。



柴田美子（守山区）

時間をつくれば比較的自由にできるので、友だちやひとりでぶらりと森や林へよく出かけて行きます。森や林の空気を吸い、鳥の鳴き声に耳を傾け、一日ボンヤリ過ごすこともあります。

今回、自然観察指導員講習会を受講し、ただぼんやりと自然に親しむだけでなく、よく観察することを教えられました。これからは身近な自然を観察し、フィールドノートを付けるようにしていきたいと思っています。

老いにさしかかった身には、ハードな山登りはこたえるようになりました。が、若い時から今に至るまで身体だけはスポーツで鍛えてきました。観察会程度ならご迷惑をかけずについて行けます。よろしくお願いします。

須賀美佐子（天白区）

おっちょこちょいののんびり屋です。一年生とは言い難く、幼稚園児。枝動員（木の枝葉）になれば良いのですが。

高木 謙（瀬戸市）

〔自己紹介〕自然観察指導員講習会を受講し、晴れて、指導員として登録されました。先輩指導員に教えられることの多かった講習会でしたが、自分にとって大いにプラスとなった講習会でした。まだまだ勉強不足の自分ですが、時間の許す限り、観察会などにも参加し、知識向上に務めたいと思います。

〔近況など〕現在、私は、藤岡町にある愛知県緑化センターに勤務しています。センター内外も緑が多く、自然観察のしやすい場所ではあるのですが、豊田市・名古屋市の通勤圏内ということもあり、宅地開発・土取り場としての自然破壊が大変多くなっています。万博開催後のセンター周辺の景色を考えると、なぜかブルーな気分になってしまうこの頃です。

戸荻辰弥（豊川市）

豊川に住んでいます。戸荻と申します。年は25才で、誕生日は1月1日という大変めでたいやつです。なにせ日本中でボクの誕生日を祝ってくれるんですから。職業は、家業の工場で働いとりまして、最近の不況でけっこうきついです。

豊川に住んでいながら、フィールドはなぜか瀬戸市の海上の森という不思議なやつでもあります。一応、自分で会などもつくってすでに観察会等も始めています。「海上の森は乳類研究会」というんですけども、もしおヒマなんぞありましたら、是非一度いらしてみてください。多分楽しんでいただけたと思います。それでは、よろしくお願いします。

野々村由紀子（名東区）

〔自己紹介〕野々村由紀子と申します。専業主婦にあこがれていますが、公務員をしています。私は、感動なくしては生きてい

けません。生きている限りずっと感動し続けたいと思っています。

〔会へのメッセージ〕このたび自然観察指導員連絡協議会の一員にさせていただきました。よりパワフルでよりハートフルな会になれば素晴らしいなと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

〔近況等〕最近、義母と二人で美術館に出かけました。第50回行動展です。その力強さに感動しました。11月19日は、職場のパーベキュウ大会です。思いっきり感動します。

原 節子（昭和区）

今回、犬山にて講習会に参加するにあたり、すごく緊張していましたが、他の皆さん話がはずみ、何かホッとすることができました。これからは、生涯学習として楽しんで観察会を案内指導したいと思います。

深尾雅代（北区）

〔自己紹介〕名古屋市北区に住んでいる深尾雅代です。植物が好きで、もっと勉強したくて、入会させていただきました。

〔会へのメッセージ〕自然とのふれあいを楽しみながら…自然の魅力、楽しさがわかりあえる…そんな観察会があらこちらで開かれる、そんな会に育てて欲しいです。

〔近況〕新一年生としましては、動物、植物、地質と巾が広いので、知らないことが多すぎます。時間をかけてひまをみつけては観察会に参加して勉強させていただきたいと思います。よろしくご指導の程お願いします。

牧野進一（豊橋市）

私は、豊川の河口、豊川放水路の下流近くに住んでおりまして、毎年真冬のいく日かは、鴨の群れの鳴き声で眠れない夜があ



めた鴨の群れは“すごい”の一語です。

こんな自然のなかに住みながら、忙しい社会生活のなかで、自然破壊の問題を始めとして自然の仕組みをあまりにも知らない自分に気づいておりましたが、定年まであと3年というときに、今回の講習を受ける機会を得たことは幸運でありました。産まれたてのヒヨコ、泣き声から勉強の私ですが、息のながいテーマとしてとりくんでまいりたいと思っています。先輩の指導員の方々のご指導を宜しくお願い致します。

間下美咲（尾張旭市）

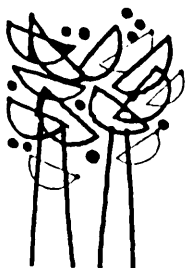
会社員をして10年になります。11月の指導員講習会が私にとっては初めての自然観察の場でした。これを機に、活動できる限り参加させていただきたいと思います。

水野喜章（北区）

ワンダーフォーゲル部のOBで、学生時代から山や自然に興味がありましたので、自然観察指導員の講習を受けました。職業は自営。年齢は49才です。数年前、あるきっかけから、「ハナノキ」に興味を持ち、奥三河・東濃・信南の自生地をさがし、尋ね歩き、また、「地形図(25,000分の1)」のマップモニターを国土地理院から委嘱されましたので、ハナノキの自生する地域である東濃地域を担当して、何度も足を運びました。「地形図」と目のあたりの「現況」との差異に、開発の凄まじさを感じました。 よろしく申し上げます。

森下なつ子（豊橋市）

自然が好きで、自然の中を歩き、自然の中にとけこんでいたい。自然と人間の調和を大切に頑張ります。



森田妙子（瑞穂区）

新しくお仲間に加えて頂くことが出来、永年の夢がかないとても嬉しく益々元気な毎日を過ごしています。野鳥の会会員で、毎月第二火曜日に森林公園で探鳥会を始めて12年5カ月になりました。ウィークデイの会なので、主婦や人生経験の長い人が参加されます。ゆっくり歩きながら、毎月勉強しています。

12月3日は、14年在籍している「名古屋市民コーラス25回定演」でナゴヤシティ管弦楽団の方とドボルザークのスターバト・マーテルを歌いますので、最後の仕上げに夢中になっています。パートはメゾソプラノです。これが済むと恒例になっている名フィルとの第九が4ステージあって今年も終わります。

そんな行事をとおして、色々な人との出会いがたくさん有りますので、自然のことを話題にして楽しんでいます。

山田恵一郎（新城市）

講習会でお世話になりました山田恵一郎と申します。3年前に鳥取県大山を見学し、その公園で自然観察指導員連絡協議会の組織が目にとまり、講習会を希望して、3回目の今回で希望がかなえられました。地質と植物に興味があり、始動員としての立場を忘れずに、自然観察会等に参加して自己研修に励みたいと思います、よろしくお願いします。

吉見 勝（岡崎市）

犬山の講習会以後、春日井市少年自然の家や瀬戸市定光寺で開催された自然観察会に参加させていただきました。とても勉強になったので、今後もできる限り参加したいと考えています。そして、いつかは始動員から指導員になれるよう努力したいと思います。



## 事務局から

### 〔行事結果〕

#### ★ 基礎研修会「イネ科植物の観察」

〔期日〕平成7年10月22日（出席5名）

〔場所〕善師野（犬山市）〔講師〕松尾 初

多くの人の苦手なイネ科植物の見分け方について研修会を行いました。始めに、水田の近くに生えているエノコログサの仲間を材料に、イネ科植物の形態を学び、その分類をしました。次に、竹と笹について、同様に分類を行いました。結果として、やはりイネ科の植物はとっつきにくいというのが印象でした。

#### ★ 基礎研修会「種子の観察」

〔期日〕平成7年11月23日（出席11名）

〔場所〕定光寺（瀬戸市）〔講師〕大竹 勝

種子の運ばれ方についてテキストにより学んだ後、森林やその周辺で見られる種子について観察を行いました。

#### ★ 普及部会

〔期日〕平成7年10月29日

〔場所〕中小企業センター〔出席〕5名

〔内容〕

##### ① 平成8年度事業計画について

##### ● 県委託自然観察会

県委託の自然観察会では、ストーリー性（ねらい・主要ポイント）を持った内容にし、各指導員に徹底する。指導者・参加者の確保に努める。

##### ● シリーズ参加者

協議会主催のこの行事の参加者の集まりが悪く、シリーズとしての意味があまりないので、8年度は「湿原」をテーマとして各支部の歩調を合わせてやってみようという意見が強かった。

##### ● その他観察会

各月例観察会に依頼して、年2回ほど簡単な自然の状況に関する調査をしてみることを考える。

##### ● 研修会

基礎研修会をほぼ毎月1回行うこととし、視察研修は長野県の梅池自然園、キャンプ研修は旭町の旭高原とする。

##### ● その他事業

自然観察会の普及をねらいに、協議会主催で写真展を行うことを検討してみる。

##### ② 「自然とつきあうためのマナー」の作成

部会長の東さんが作った素案について意見交換を行いました。内容は「自然に親しむための知識」「マナー」「用語解説」とし、30ページ程度の小冊子にまとめる方向に決めました。自然観察会などで参加者に配布するようなものです。

#### ★ 運営・編集部会

〔期日〕平成7年11月26日

〔場所〕名古屋市助成会館〔出席〕6名

〔内容〕

##### ① 協議会の運営について

会の経理と会費の額、機関誌の発行体制、事務局体制、自然観察会の運営などについて意見交換を行い、理事会に出す案をまとめました。

##### ② 平成8年度事業について

普及部会で検討した内容について進めることを確認しました。

##### ③ 機関誌の内容と編集について

最近、機関誌の遅れが目だっており、その主な原因は、編集に係わる者が少なく、原稿集めが円滑にいかないためと考えられるので、編集体制の強化を図る方向で検討

しました。そのために各支部の通信員による支部の情報コーナーを各支部1ページ設けること、原稿を作成するための担当者を数名置くことを考えました。

## ★ 理事会

〔期日〕平成7年12月3日

〔場所〕県産業貿易館

〔出席〕9名

〔内容〕

### ①協議会の経理状況（11月末現在）

収入 2,329,734円（内会費 596,500円）

支出 1,505,838円 残高 823,997円

### ②協議会の運営について

#### ●経営状況と会費の額

平成8年度は県からの事業委託費が大幅に減る見込みであり、他の委託事業もあまり期待できない。このため、事務の合理化を通じて支出も努めて押さえるようにするが、安定した運営のためには平成9年度から会費を3,000円に引き上げる方向で検討することとなった。なお、会員の増加で支部の運営も楽ではないため、支部配分金は今後も360,000円とする。

#### ●機関誌の編集体制

運営・編集部会で検討したように、原稿を発行期日にかかわらず多く集めるように体制を整えることとする。なお、今後の発行は偶数月の20日とし、原稿締切は奇数月末とする。

なお、8年度の編集部会長は、近藤盛英さんに依頼することとなった。

#### ●事務体制について

現在の役員、部会員は平成7年度で任期が終わるが、8年度も役員、事務局の組織体制は変えずにいくこととする。

#### ●自然観察会について

県委託の観察会が今までの6回から5回に減られる見込みであるが、協議会主催という形で後1回を行う。また、シリーズ観察会等協議会が主体的に行う自然観察会

については効果的に進められるよう隠し部一致して努力する。

### ③平成8年度事業計画について

普及部会、運営・編集部会で決まったようにすすめることとなる。なお、次のような意見があって、今後事務局で検討する。

・自然保護などで問題となっている場所の自然の見学会を、各支部が他の支部にも呼びかけて行う。

・岐阜県東濃地方で見つかったシデコブシの自生地の見学会を行う。

### ④経理規定の変更

県が発行する図書等でなかなか手に入れないものについて協議会が一括購入して会員に斡旋する。これを、今行っている積立金とともに「特別会計（積立・図書）」を設けて処理する。

## ★ 環境教育を考える会

### 第5回

〔期日〕平成7年8月12日

〔場所〕名古屋市教育館

### 第6回

〔期日〕平成7年10月14日

〔場所〕中小企業センター

「童謡と絵本にみる環境教育」についてシンポジウムを行う計画で、その内容等の検討を行っています。第5回、6回は、童謡と絵本の内容やその使われ方についての意見交換を行いました。

なお、この会は偶数月の第2土曜日に開催しています。お問合わせは、山田博一さんまで。



## 山崎川ウオッチング

(ナニカウイテイル)

白木 幹 司

去年の1月5日、千種区大島町の山崎川に意外なものを見つけました。赤ちゃんがお風呂からオモチャを持ってきて投げ込んだのかな？と思いきや、どう見てもユリカモメに見える。しかもたった1羽だけ。

珍しいので、とりあえず1枚だけ写真に収めて、観察しながら川下へと自転車を走らせました。この日はひさご橋までにダイサギ1羽、コサギ8羽、キセキレイ・セグロセキレイ・ハクセキレイをそれぞれ2～3羽数えて引き返しました。

そして先ほどユリカモメが浮いていた所から60m程下の大島橋に来た時、その上の少しは深い……と言っても30cmほどの淵状の所に、今度は浮いていました。そして、その水中に黒いアミーバのようなものが、前へ後ろへと動いているのです。何とそれは数千、数万かもしれないオイカワの塊のような群れだったのです。

時間は1時20分頃です。やはりユリカモメです。時々1mほど飛び上がっては、オイカワの群れをめがけてバシッと水中へ飛び込みます。見ている間に10回ほどダイビングして、5～6cmほどの小さいのを2羽くわえて浮き上がっただけです。カワセミと確率が逆のようです。カワセミはもっと小さいのを、10回で8尾はくわえてきますから。

一昨年は、よく雨が降り、冷夏だったので、この川は生き生きとしていて、オイカワ・ドジョウ・コブナなどが豊富で、コサギと夕方近くやってくるゴイサギが多く見られましたが、去年は猛暑と渇水で、ドブ川でした。

## 簡単なウッドラック15

名古屋支部 椿 幹雄

樹木の押し葉を利用して、蝶やトンボを作ってみませんか？

### 1 準備品

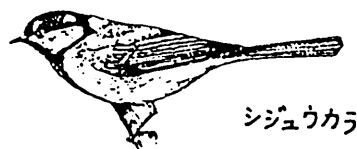
- ①透明ポリエチレン (10cm角)
- ②ボンド (マーカーのり)
- ③押し葉 (1枚)
- ④マジックペン (水性又は油性)
- ⑤ハサミ

### 2 作り方

- ①透明ポリエチレンの片面にマーカーのりを一面に塗る。
- ②マーカーのりが乾燥しないうちに押し葉を表側を上にして張り押える。
- ③完全に張り終えてから、押し葉にマジックペンで蝶やトンボなどの輪郭を描き、はさみで切り抜く。

### 3 こんな押し葉の作り方

チリ紙2枚に生葉をはさみ、それを薄めのスポンジ2枚にはさみ、次に耐熱皿2枚の底面のほうではさみ、電子レンジで数秒加熱します。なお、ムクノキの葉は、昔ペーパーとして木類の仕上げの時に使用しただけに熱に強く、緑色が抜けにくい葉です。



シジュウカラ

## 行事案内

### 〔協議会の行事〕

#### ☆ 基礎研修会「愛知県の土地利用について」

期日：平成8年1月15日(日) 1:30～ 。中小企業センター(名駅前)

講師：愛知県土地利用調整課主査

#### ☆ 基礎研修会「冬芽と樹形」

期日：平成8年2月24日(土) 場所：名古屋市緑区大高緑地(第一駐車場集合)

#### ☆ 基礎研修会「地質の観察を考える」(予定)

期日：平成8年3月9日(日) 場所：西三河地域の予定

#### ☆ 協議会・各支部の総会予定

8. 1. 14 尾張支部      8. 1. 27 名古屋支部      8. 1. 28 東三河支部

8. 2. 4 知多支部

8. 3. 24 協議会総会

※ 2月に「自然観察指導について」の研究会を、NACS-Jの講師をお招きして行う予定です。

### ◆ 編集後記 ◆

今回も機関誌の発行が大幅に遅れてしまいました。協議会の業務で会員への情報提供は非常に大切なことであり、機関誌の定期発行を何としても実現しなさいとは、理事会などでも指摘されていますが、なかなか実現できず申し訳なく思っています。

そのため、8年度は機関誌の編集体制を充実させて、機関誌を何としても2月に1度の発行とし、併せて記事にも多様性をもたせるよう、現在検討しています。

編集事務局は、今回と次回は佐藤が行い、4月号からは近藤盛英さんが担当することになりましたので、投稿などは下記の協議会事務局か近藤盛英さんまでお送りください。

なお、機関誌の発行を含め協議会の事業を円滑に行うために事務局の体制を充実させたいと思っていますので、ご協力いただける方は事務局までご連絡ください。お待ちしております。

何かと事件の多かった平成7年が終わろうとしています。8年は会員の皆さんにとっても社会にとっても良い年であることをお祈りします。

#### 📬 教えてください

矢作ダムにいる動物(鳥、魚など)を調べています。資料や他に調べている方・グループがあれば教えて下さい。

岡田 慶 範

〒444-25 足助町久木字宮ノ洞 9

愛知県自然観察指導員連絡協議会 機関誌 NO.54

0 編集事務局 〒470-01 日進市南ヶ丘 2-18-11 佐藤国彦